



第 2510 回例会 2015 年 8 月 5 日 (水) SAA (司会) / 小澤会員 会報担当 / 上野会員

事務局 市原商工会議所内 市原市五井中央西 1-22-25 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト
- お客様 米山奨学生 李 俊傑様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



昨日は IM が開催されました。当クラブからは 10 名が参加いたしました。ご苦勞様でした。1. 桜木ガバナーの RI・地区の組織構成のわかりやすい説明 2. 今年度の行動計画の説明「原点を知り、

考える」クラブを活性化させ、ロータリーライフを充実させるには原点を知ることであり、そして考えることである。3. アトラクションのオレンジ・レディも久々に目の保養にもなり、また懐かしさもあり、とても楽しい時間を過ごしました。

本日は長期計画委員会の「クラブ活力テスト」がメインプログラムです。この「クラブ活力テスト」は、活き活きとした魅力的なロータリークラブへの復興を願うクラブが、自クラブの現在の問題点と活性度レベルを正確に把握し、活性度レベルを高め、クラブの問題を解決していくために、今何をすべきか 確認することを目的として作られています。このテストの前提となるのは、「どんな組織も時間の経過とともに必ず硬直化する」という考え方です。

「組織の硬直化」とは、組織がその目的を見失ったり、目標を達成する意欲をなくしたり、成功体験におぼれて前例主義・画一化・リスク回避や変革を嫌う体質に陥ったり、会員間のコミュニケーションが不足し派閥ができたりなどして、機能不全になった状態をいいます。硬直化が進むと、その組織が掲げる目標を達成することも成果を上げることも難しくなります。

どんな組織も発足当初は活力に満ちあふれていますが、時が経ち、組織が 拡大し機構が複雑化するとともに、残念ながらその機能が硬直化し活力を失っていきます。日本のロータリークラブの多くは、この「組織の硬直化」に直面しています。

「組織の硬直化」を放置すれば、その組織の活力は益々失われ、組織は衰退し、最後には崩壊してしまいます。硬直化から脱し、組織活力を回復させる方策はあります。ただ、組織の硬直化の度合いに応じて、その対策は異なります。このテストでは、クラブ組織の活性度 / 硬直度のレベルと、それぞれのレベルに応じた対応の方法を示しています。

ただし、この「クラブ活力テスト」は、クラブの現状を簡便に自己診断する ツールですので、示されたレベル評価や対策は、あくまで目安と考え、自クラブの問題について、より具体的・個別的な分析・検討が必要です。そんなことを踏まえて今回クラブ活力テストを実施いたします。以前に委員会内で行ったところ 44.8 点で 50 点を下回りました。クラブ全体でどのくらいの点数が出るのか楽しみです。長期計画委員会の皆さんよろしくお願ひ致します。

●幹事報告

- ・9月のプログラムが決定しました。
- ・9月16日ガバナー補佐訪問の件、クラブ協議会方式で行います。そこでガバナー補佐が報告書を作製しそれを基に、10月7日のガバナー公式訪問を質問形式で行ないます。ガバナー補佐訪問の資料は皆さんにメール致します。

米山奨学生・李 俊傑様あいさつ



皆さん、こんにちは。
毎月の奨学金、ありがとうございます。この1ヶ月間の状況を報告させていただきます。先月の25日にロータリー2790地区の奨学生、指導教員、カウンセラーの

共同研修会がありました。今年の研修会では、初めて指導教員も誘って米山記念奨学事業を先生にも詳しく知ってもらうようになりました。計24名の奨学生の中で当日、指導教員とカウンセラーが両方ご出席されたのは13名でした。その中で、私の指導教員の下田先生とカウンセラーの白鳥さんはお二人ともご出席させていただき、本当に嬉しかったです。

研修会終了後の懇親会では、ビンゴゲームもやって、白鳥さんはあたたか景品を私に譲ってくださいました。ワイワイの雰囲気でしたが、ふと私はこんな気持ちになりました。それは、日本で私のことを誰よりも気にかけてくださる2人の方（指導教員とカウンセラー）が同じ場所

で懇談される姿を見て、私は本当に幸せだなという気持ちでした。また、これからの9月からは訪問卓話が始まりますが、私は自慢の話をするのではなく、自分自身ありのままを他のクラブの皆さんにも伝え、「米山奨学事業を支援して本当に良かった」と思わせたいと思います。

ちなみに、先月の報告で私は今就職活動で悩んでいると申しました。

皆様にご心配をおかけしまして申し訳ありませんでした。本日はつい昨日あった吉報をお伝えしたいと思います。やっとある会社の内定を頂きましたので、皆さんはご安心ください。引き続き、頑張りたいと思います。

我々奨学生に国際親善の大きな期待を寄せられる方々のためにも、これからはもっともっと頑張りたいと思いました。ありがとうございました。

本日のメインプログラム

長期計画研究会により「クラブ活力テスト」を実施しました。



クラブ活力テスト

この「クラブ活力テスト」は、生き活きた魅力的なロータリークラブへの復興を願うクラブが、自クラブの現在の問題点と活性度レベルを正確に把握し、活性度レベルを高めクラブの問題を解決していくために、今何をすべきか確認することを目的として作られています。

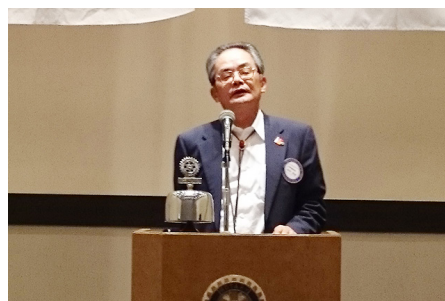
組織の硬直化

このテストの前提となるのは、「どんな組織も時間の経過とともに必ず硬直化する」という考え方です。「組織の硬直化」とは、組織がその目的を見失ったり、目標を達成する意欲をなくしたり、成功体験におぼれて前例主義・画一化・リスク回避や変革を厭う体質に陥ったり、組織構成員間のコミュニケーションが不足し派閥ができたりなどして、機能不全になった状態をいいます。

硬直化が進むと、その組織が掲げる目標を達成することも成果を上げることも難しくなります。どんな組織も発足当初は活力に満ちあふれていますが、時が経過し、組織が拡大し機構が複雑化するとともに、残念ながらその機能が硬直化し活力を失っていきます。日本のロータリークラブの多くは、この「組織の硬直化」に直面しています。

「組織の硬直化」を放置すれば、その組織の活力は益々失われ、組織は衰退し、最後には崩壊してしまいます。硬直化から脱し、組織活力を回復させる方策はあります。ただ、組織の硬直化の度合いに応じて、その対策は異なります。

このテストでは、クラブ組織の活性度／硬直度のレベルと、それぞれのレベルに応じた対応の方法を示しています。ただし、この「クラブ活力テスト」は、クラブの現状を簡便に自己診断するツールですの



で、示されたレベル評価や対策は、あくまで目安と考え、自クラブの問題について、より具体的・個別的な分析・検討が必要です。

テストの背景にある価値観

- (1) ロータリー理念の普及と実践こそが、ロータリーの社会的存在価値を高める。各クラブの存在価値は、属する地域社会への貢献によって高まる。
- (2) ロータリー運動の主体は、一つ一つのクラブである。そして、クラブの活動の成否は、クラブ会員の主体的・自発的行動にかかっている。
- (3) 職業や国・地域や個性・能力等の多様性が、ロータリーの活力の源泉である。
- (4) 時代や社会環境の激変によって、ロータリークラブ（の組織や活動のあり方）は、大きな変革を求められている。
- (5) ロータリークラブを変革してゆくには、長期的なビジョン・戦略と、継続的な取り組みが必要である。
- (6) 一人一人の会員の満足度（充実感、参画意識、やりがい）を高めて行けば、クラブ全体の組織活力が高まり、効果的なクラブになる。テストの構成このテストでは、クラブ組織活性化の課題を次の5つの分野に分けています。

1. 理念・方針の浸透とリーダーシップ
2. 社会貢献
3. 魅力あるクラブづくり
4. 効率的なクラブ運営
5. 活動の成果

このテストでは、まず5つの分野それぞれについて、機能が十全に働いているかどうかを診断し、次に5分野合計で、クラブ全体の活性度／硬直度を診断します。

結婚・誕生祝い（8月）

誕生：箕輪会員・小川会員・大木会員・鶴岡会員・山本会員

●ニコニコ・ソーリー

万崎会長・平野幹事

李さん、今日は来訪ありがとうございます。いつでもお待ちしております。

●出席報告

前々回確定 100% 本日出席 22名

欠席 19名 本日出席率 74.29%

●点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正